

奥会津 だより

2004年秋
第26号

葉っぱで 変身!

みつ葉 さざ葉 不思議な葉
みくんなおもちゃに大変身

今日はいも葉『マジカルフェイス』

葉っぱを通して大空見たら

葉っぱも同じ空を見た

葉っぱはボクに

ボクは葉っぱに大変身

秋の山々ため息つくたびを染まる

目黒 未来さん(朝日中)

奥会津つれづれ

家でいくつもなっている鬼灯ほおぼは、街中にはない鮮やかな色の袋を持っている。小さくても目に飛び込んでくる赤橙色に染まっている。

通販カタログで服や小物を見ると、どれも黒、白、紫、緑と流行の中で作られているため同じ色が目に留まる。そんなものが世の中に溢れている今だからこそ、植物が生み出す色はなおさら新鮮だ。

先日、近くに開館した私設ふるさと館「田子倉」に行ってきた。田子倉ダム建設のために水没した田子倉集落出身の方が、その歴史と面影を伝えていくための田子倉の資料館だ。現在では5億トンと言われている貯水量の田子倉ダムの湖底にある、かつての集落の姿が写真などがらうかがえた。

その中で印象に残ったのは、今は亡くなった方が、生前に書き残した色鉛筆で描かれた絵だ。彼の少年時代の頃の田子倉の風景を、自分の言葉と色鉛筆で記憶に残っている景色を描いている。記録にも残っていない、田子倉の日常の一場面がそこにある。記憶の中に留められていた数々の風景には、今はない彼のふるさとがある。桜が咲き乱れていた頃、カジカつきをした日のこと。彼が残してくれた色には、私たちがあてられたメッセージが込められている。(治)

道・探訪

みち・たんぼう 其の二

なんごうむら
南郷村

いなむら
伊南村

伊南川の清流が南から北へ流れる谷沿いに、南郷、伊南両村の集落が開けている。川の兩岸はトマトやソバの名産地として知られ、夏から初秋にかけて、谷を抱く山々の深緑と、集落を囲む耕作地の鮮緑が美しい。同川は自然の恵みを与えるだけでなく、川と並んで走る旧沼田街道とともに、信仰と文化を運ぶ往還道でもあった。

伊南川のアユ釣り



伊南川は毎年、7月から9月にかけてアユ釣りのシーズンを迎える。会津方面だけでなく、関東圏からの釣り人も多い。心配された夏の大雨の影響もなく、今年も釣果は上々で、体長25センチほどのアユが次々にあがっている。

栃木県から来た釣り人は、「関東の渓谷で獲れるアユと比べて、味・香りが格段に良い」と話していた。

信仰と文化の道

一方、川とともに両村を貫く旧沼田街道は、かつて「信仰と文化の道」として利用された。街道に沿って奥会津十三観音の二十三番札所「小塩観音堂」（伊南村小塩地区）から、三十三番札所「和泉田観音堂」（南郷村和泉田地区）まで十一の御堂が連なる。



小塩観音堂

このほか信仰・文化の跡をとどめる史跡は多く、南郷村の大新田地区には樹齢五百年を超える杉がそびえる北野神社、道教から影響を受けた庚申信仰の跡を示す石塚「庚申塔群」などがある。



庚申塔群

樹齢500年を超える杉



また、伊南村には、江戸期の会津仏師に大きな影響を与えたと言われる阿弥陀如来像（古町地区善導寺）、かつて農村歌舞伎が上演された「大桃の舞台」（大桃地区）などがある。カヤぶきの舞台は長い年月を経て退色しているが、重厚な造りが存在感を際立たせ、往時の華やかさを思わせる。



阿弥陀如来像

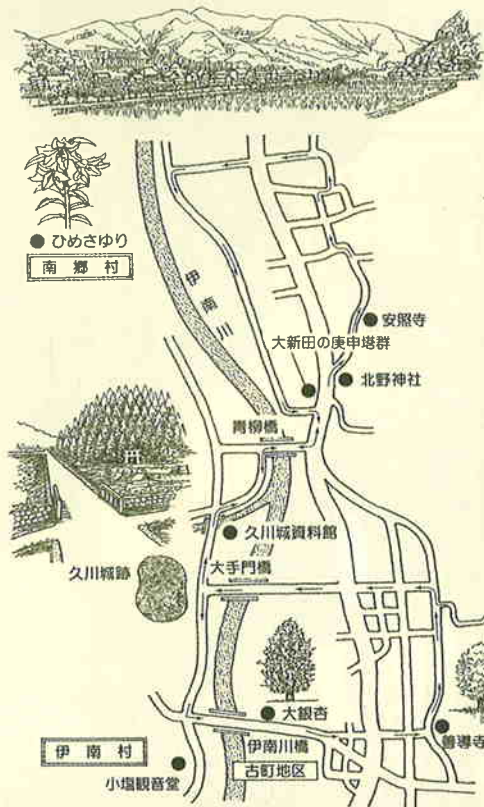
南山御蔵入騒動

しかし、「信仰と文化の道」が常に平和だったわけではない。享保5年（1720年）にはこの地域で農民一揆「南山御蔵入騒動」が起きている。一揆の代表らは江戸に直訴したが、幕府の弾圧を受け、首謀者とされた齋藤兵左衛門は斬首された。

現在、一揆側の拠点になった南郷村の安照寺（宮床地区）には「義民兵左衛門供養碑」がひっそり立っている。高さ1メートルにも満たない石碑の文字は半ば風化しているが、父祖の息吹をこの碑だけがわずかに伝えている。



義民兵左衛門供養碑



第2回作品 撮影者：菊地良次 撮影地：柳津町



第2回作品 撮影者：神村たかし 撮影地：伊南村

奥会津
とっておきの
風景

フォトコンテスト入賞作品より

★詳しい撮影場所は協議会のHPへ

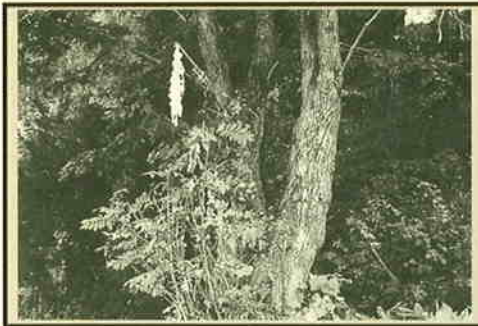
風祭り (金山町)

9月7日は金山町西谷地区の風祭り。「信心して村休み」と書き添えられた回覧が村中を回り、人々は一斉に仕事の手を休める。

洪水、火事、台風など、昔から災害に繰り返し見舞われてきたこの地区では、1年の無事を祈り毎年この祭りを行ってきた。

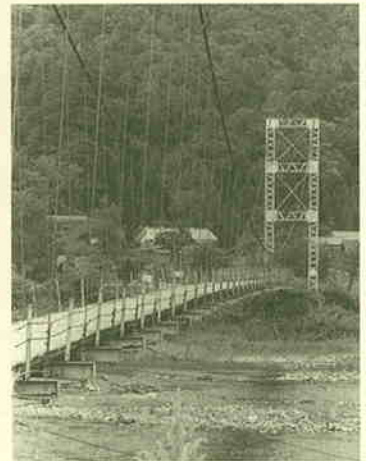
村を守るように上手と下手に立つクルミの木に、神官によって切られた御幣をその年のつめ番が下げる。若いつめ番はより高く、神に届くようにと木に梯子をかけ、高枝に御幣を掲げる。古老は精一杯腕を伸ばし、頭上の枝にかける。

稲穂が頭を垂れるこの時期、豊作への願いは、強風を鎮める祈りとなつて神に捧げられる。初秋の1日、谷あいの村は静かに収穫の季節を待っていた。



OKUAIZU ふるさと 写真館

写真・文：竹島 善一



▲転がる油の罐は過ぎた冬を語る。秋に稲穂が干されるハゼ。農家の庭先は一年の生活を映している。生粋の会津人との印象を私に与えた老人は静かに家へ戻っていった。ここには何とてない日常のもたらす平穏がある。(只見町小川・昭和51年9月)

▲橋戸の広い川巾をまたいで架かる吊り橋は風景に溶け込んでいる。鋼鉄のワイヤーの張りと曲線の美に科学技術の程良い調和を見る。(只見町橋戸・昭和51年9月)

TOPICS

第九回 歳時記の郷・奥会津 全国俳句大会開催

8月28日・29日の両日、金山町の御神楽館において、「第9回歳時記の郷 奥会津全国俳句大会」が行われました。

天候にめぐまれ、参加者270名余りが集った今回で、9町村を一巡したことになります。記念すべき今大会で大賞に輝いたのは、千葉県坂本一郎氏。小中学生の部大賞は只見町・朝日中学校の目黒未来さん。本当におめでとうございます。他の受賞者は次のとおりです。

- 準賞 東京 小沢 房子
- 電源流域振興協議会賞 愛知 菅野 如伯
- 柳津町長賞 茨城 池田 鷹志
- 三島町長賞 東京 小竿 和子
- 金山町長賞 群馬 芝根 南
- 昭和村長賞 福島 五十嵐庄七
- 只見町長賞 東京 宮島 敦子
- 南郷村長賞 福島 鈴木満喜子
- 伊南村長賞 福岡 近藤 脩
- 館岩村長賞 東京 網島 清
- 檜枝岐村長賞 京都 由良 邦雄
- 小中学生の部
- 準賞一席 只見小六年 五十嵐梨紗
- 準賞二席 柳津小二年 坂上 良輔

◎投句総数…一般5,092句・小中生1,444句 (敬称略)

二日目の選者の先生方による車座談義。左から榎本好宏氏、茨木和生氏、黒田杏子氏。



大賞を受賞する坂本一郎氏。



第5回作品 撮影者：小林豊帆 撮影地：館岩村

第4回作品 撮影者：廿野政直 撮影地：只見町

第3回作品 撮影者：坂本礼三 撮影地：三島町

てわざのものたち

～ 特産品紹介 ～



曲輪 (まげわっぱ) (檜枝岐村)
 ネズコ (黒檜) と山桜の皮でつくる檜枝岐の曲輪はとても美しい。冬の仕事として昔から作られ続けてきたものだ。家族の作業を子供たちが見つめ、その技を受け継いできた。
 ゆでて軟らかくなったネズコの薄皮を円柱に巻き込み、山桜の皮を薄く剥いだ締め紐で止める。軽く、水を入れてもふやけず、吸湿性や抗菌性が高いと実用性にも優れている。
 整った柎目には、冬の檜枝岐の聖霊が宿っているようだ。



一品

- 3 -

「そうめんカボチャの酢の物」

そうめんカボチャは不思議な野菜だ。固い皮の中身は、ゆでるとそうめんのように細くほぐれる。しゃきしゃきした歯ごたえとさっぱりとした味わいに、満腹でもつい箸が伸びる。暑さに疲れた体にやさしい一品だ。

作り方
 縦二つ、もしくは大きな輪切りにして、種をとって皮ごと熱湯でゆでる。水にとり、皮からはがすように手で身をほぐし取る。これを三杯酢など好みの酢加減で和える。この他にマヨネーズやドレッシングや和えなども。また、生のまま皮をむき、薄く切ったものをみそ漬けや一夜漬け(しょうゆ、酒、みりん)にしてもおいしい。

思い出を一言



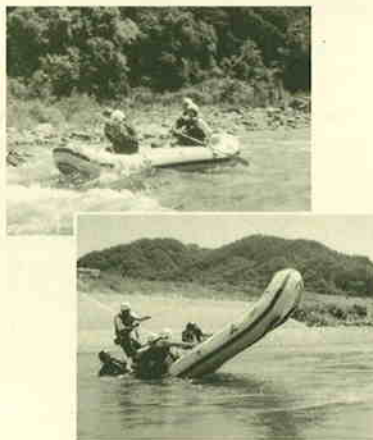
羽染 フチ子さん (昭和村)

オレたち子供の頃は、盆に必ずこれを食べた。里帰りする家族が楽しみにしてたから作ってたの。実に棒を四本さして動物のかっこうにして、父ちゃんがおもちや作ってくれたりしてなあ。そうめんカボチャ食べると子供の頃を思い出すよ。

いべんとぞ報告

ラフティング半日ツアーを開催しました

7月31日(土)8月1日(日)の二日間、伊南川でラフティングツアーを開催しました。二日日間とも天候に恵まれ、伊南川をのんびりと下りました。今回はラフティングに乗るだけでなく、ボートを使った遊びもあり、楽しんでいました。遠方から参加して下さい下さった皆さん、本当にありがとうございました。



いべんとぞ告知板

ラジオ福島で放送中!

9月1日より毎週水曜日午前10時55分ラジオ版歳時記の郷・奥会津だよりを放送しています。主に各町村のイベント情報についてお伝えしています。各町村で行われる旬のイベント情報はこちらでどうぞ。
 〈期間〉平成16年9月1日～平成17年2月23日までの毎週水曜日
 〈時間〉午前10時55分から約4分間の情報提供番組

会津鶴ヶ城会館で放送中!

昨年テレビ東京などで放映したコーマシヤルと各町村のイベント情報を会津鶴ヶ城会館に設置してある大型画面で放送しています。また9町村のパンフレット、イベントのチラシなどもありますので、お近くにお越しの際はお立ち寄り下さい。

エコハイク参加者募集中!

黄金色に輝く草原の中を散策してみませんか。紅葉の尾瀬ハイク
 〈日 時〉10月5日(火)6日(水)1日目
 午前8時30分 山の駅 沼山峠集合
 沼山峠～大江湿原～見晴地区の山小屋に宿泊2日目
 午前8時30分 山小屋出発
 平滑の滝～三条の滝～裏燐吊橋～御池
 〈参加料〉お一人様1,000円
 ※現地までの交通費、山小屋宿泊料は各自ご負担下さい。
 〈申込先〉尾瀬檜枝岐温泉観光案内所
 0241-752432
 〈締切り〉9月21日(火)まで

JR只見線にSL、トロッコが走る!

初秋の奥会津を駆けるSL会津只見号、風つこ会津只見号に乗って、秋色に染まりはじめた奥会津の山々、そして只見川を眺めながらのんびりと過してみませんか。奥会津の只見川沿いを走る列車の姿は、風景撮影にもおすすめです。
 風つこ会津只見号運行日(全席指定)
 10月2日(土)3日(日)9日(土)10日(日)11日(祝)
 SL会津只見号運行日(全席指定)
 10月23日(土)
 なお、指定席券は運行1ヶ月前の午前10時より全国のみどりの窓口等で発売します。

聞き耳袋

秋の山には午後入るもんでねえの
 じき日が落ちて、ああ晩げになっちゃう
 あとあわてっちゃう。そうすつとキツネにばかされて、道わかんねぐなっちゃうんだ。秋の山はおつかねえよ。
 (渡部サクヨさん・三島町)